

今月も現在開催中の企画展「ニュースになった安中の遺跡」で取り上げている遺跡について紹介します。

中野谷松原遺跡

中野谷松原遺跡は工業団地造成事業に伴う発掘調査によって発見された約5,300年前(縄文時代)の大規模集落の跡です。遺跡からは大形掘立柱建物跡や大形住居跡、200基以上の墓が確認されました。また、多数の出土遺物も見つかり、その中には県下最大の超大形黒曜石の原石(約3.5キロ)や、北陸の球状耳飾、西日本・東関東系の土器など遠方産とする遺物が含まれていました。

発見された大形の建物は定住型の拠点集落に見られる特殊な建造物であり、黒曜石の原石や他地域から運ばれてきた遺物が多く確認されたことから、中野谷松原遺跡は黒曜石の産地である長野県から各地に繋がっていた黒曜石交易路上の一大切な拠点として発展した集落だったと考えられています。

中野谷松原遺跡出土の遺物として特に注目されるのが土器の口縁部に獣の顔の

令和4年度文化財愛護ポスター



最優秀賞

西横野小学校(6年)

金田 恵菜さん



中野谷松原遺跡から出土した
獣面付き土器(深鉢)

装飾をほどこした「獣面付き土器」です。モチーフの多くはイノシシではないかと考えられています。イノシシは当時の人々にとって非常に身近な存在でした。獣面付き土器は西毛地域発祥の土器と考えられており、地域の特産品として交易ルートにのって黒曜石とともに近隣地域に広まってきました。

第23回企画展「ニュースになった安中の遺跡」は2月6日(月)までふるさと学習館企画展示室にて開催しています。

ふるさと学習館は12月28日(水)は臨時休館です。12月29日(木)～1月3日(火)は休館です。

後開榛名梅香

作：三遊亭円朝(1839～1900) 編集：学習の森
※学習の森で紹介のために編集したもので、原文とは異なります

連載 第7回

主従の出会い(7)

「十六の小僧では碓氷越えなどままなりません。どうかこのままお供としてお連れください。草三郎。父はもはや死んだと思ひ、恒川様を主として、また親と思つて忠義を尽くし、いづれ立派に香散見の家を立ててくれ」と、香散見が涙ながらに訴えると母親のおはるも泣き出してしまった。息子の草三郎も「はい」と返事はしたものの、こ

れが父との今生の別れと予感して、なかなか決心がつけられない様子である。「さあ、行け。早く」戸惑う息子を急ぎ立てる香散見に、恒川もその心を承知して、「それではおいとまいたします。どうぞお大事に」と、無理やりに二両ばかりの金を置き、草三郎を引き連れてあばら家を後にした。(つづく)

End of the year workshop

年の瀬のワークショップ

大人も子どもも楽しめる冬のワークショップを開催します。参加希望者は当日会場で受付してください。事前予約は不要です。

開催日時 12月17日(土) 午前10時～午後3時 (最終受付)
場所 学習の森 つどいの間

ワークショップ体験内容

樹脂粘土のきのご盆栽・きのご標本作り
毛糸や布を使ったクリスマスリース作り
クリスマスキャンドルサシェ・カラフルキャンドル作り
松ぼっくりのオーナメント作り など

★ワークショップごとに材料費などの実費(参加費)がかかります。参加費は当日講師にお支払いください。(500円～)



問合せ▶安中市学習の森 ふるさと学習館 午前9時～午後5時(入館・ミュージアムショップは午後4時30分まで)
安中市上間仁田951 ☎027-382-7622(ふるさと学習館) ☎027-388-0038(生涯学習施設予約)
【12月の休館日】12/6(火)、12/13(火)、12/20(火)、12/27(火)～1/3(火)